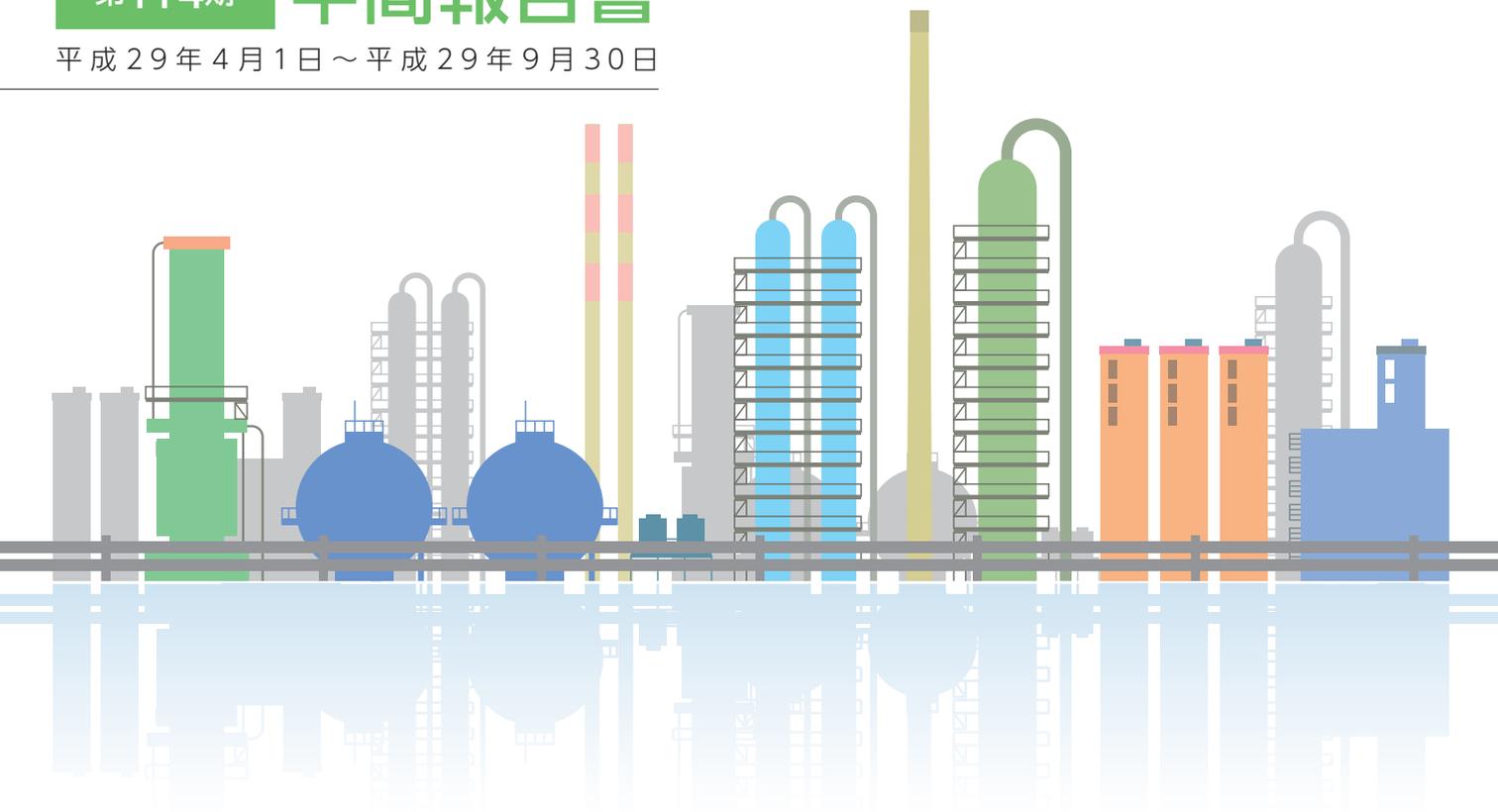


# 第114期 中間報告書

平成29年4月1日～平成29年9月30日



## ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第114期中間期(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

吉川善治

Yoshiharu Yoshikawa



当中間期におけるわが国経済は、個人消費の緩やかな持ち直し、設備投資、輸出、生産などの持ち直し、企業業績、雇用情勢の改善など、全体的な景気は緩やかな回復基調の中で推移しました。

海外経済では、地政学的リスクの高まりによる世界経済の先行きに不透明感があるものの、米国・ヨーロッパ経済が引き続き堅調であることや、中国・東南アジア経済の持ち直しにより、緩やかな回復基調にありました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、石油業界では経営統合・再編の動きの中で、業界は大きく3グループに集約されることとなりました。また、統合効果の実現に向けた生産・供給体制の再構築による石油

製品等の生産設備の停止・廃止の動きも具体化されつつあります。一方、石油化学業界では、石油化学製品の需要が好調に推移していることから、エチレンプラントなどの高稼働が続き、好調な業績を維持しております。

こうした環境下、当期(平成30年3月期)は定期修理工事が端境期にあたりますが、当中間期については、定期修理工事の工事量が予想を上回りました。また、損益面においては、建設業界の人手不足と労務単価の上昇により外注加工費における工事原価の上昇要因がありましたが、収益管理の強化、作業効率の向上、間接コストの圧縮など、継続的なコスト低減を図り、収益の確保に努めました。

当中間期における当社グループの業績につきましては、

受注高は前年同期比6.7%減の463億8千3百万円となり、売上高である完成工事高は前年同期比3.1%減の450億6千7百万円となりました。また、営業利益は35億2千7百万円(前年同期比0.2%増)、経常利益は36億9千8百万円(前年同期比9.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は24億7千万円(前年同期比15.2%増)となっております。

当社グループのうち、当社単体の業績につきましては、受注高は前年同期比8.5%減の431億1千万円となり、売上高である完成工事高は前年同期比4.9%減の417億9千

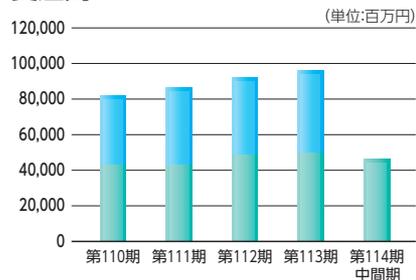
7百万円となりました。また、営業利益は30億7千1百万円(前年同期比5.1%減)、経常利益は31億7千1百万円(前年同期比2.0%減)、中間純利益は22億1千6百万円(前年同期比1.5%増)となりました。

また、中間配当は見送らせていただきますが、期末配当金は1株当たり30円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 連結業績の推移

### 受注高



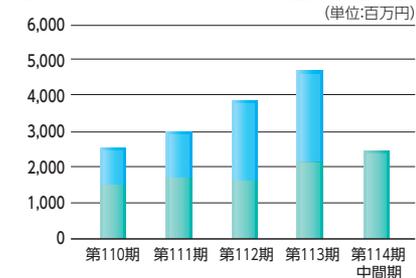
### 完成工事高



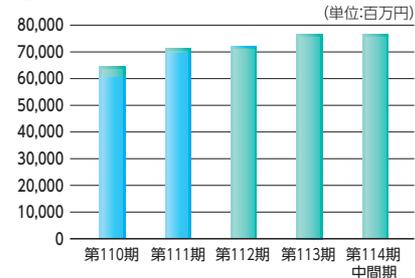
### 経常利益



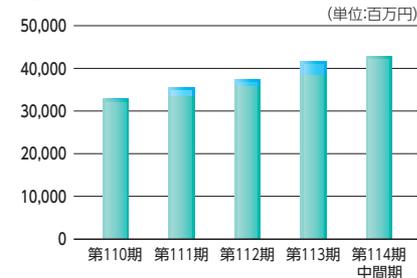
### 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



### 総資産



### 純資産



## 田坂鉄工建設株式会社のタンク事業の承継について

新興プランテックグループは、第6次中期計画（平成28年4月～平成31年3月）の受注戦略のひとつとして、「タンク事業の強化による受注拡大」を掲げています。

その一環として、平成29年9月1日付で田坂鉄工建設株式会社のタンク事業を承継し、当社グループの新たな子会社として事業をスタートしました。

田坂鉄工建設株式会社は、これまで60年以上にわたりタンクのメンテナンス工事および建設工事に携わってまいりました。長年培ってきたノウハウ・技術力により、数多くのお客様から信頼を得ています。その事業を引き継ぎ、今後も当社グループは、タンク事業における受注拡大および施工体制のさらなる充実に努めてまいります。

### 会社概要（平成29年9月1日現在）

会社名	田坂鉄工建設株式会社
本店所在地	大阪府柏原市石川町1番6号
資本金	1,000万円
株主	新興プランテック株式会社（100.0%）
代表者	代表取締役社長 中嶋 浩二
業務内容	タンクのメンテナンス工事および建設工事



## 「JPX 日経中小型株指数」に選定されました

当社の株式が平成29年8月31日を実施日として、株式会社東京証券取引所および株式会社日本経済新聞社が共同で算出・公表する「JPX 日経中小型株指数」の構成銘柄に選定されました。



### JPX 日経中小型株指数とは？

資本の効率的活用や投資者を意識した経営を行っている企業を選定するとともに、こうした意識をより広範な企業に普及・促進を図ることを目指し、併せて、こうした企業への投資者の投資ニーズに応えることを目的としています。東京証券取引所の市場第一部、市場第二部、マザーズ、JASDAQを主市場とする普通株式銘柄（約3,500銘柄）のうち、時価総額や市場流動性指標によるスクリーニングの後、3年平均のROE（自己資本利益率）、3年累積営業利益に基づく定量的なスコアリングに加え、2人以上の独立社外取締役選任等の定性的な要素を加味して行われ、200銘柄が選定されています。

当社の持続的な成長性や収益性、財務健全性が「投資者にとって投資魅力の高い会社」として評価されたものと受け止めています。これまでご支援いただいた多くの皆様へ感謝申し上げますとともに、今回の選定により、さらに多くの投資家の皆様にご注目いただき、その期待に応えられるよう、一層の企業価値の向上に努めてまいりますので、今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期末	前期末
	(平成29年 9月30日現在)	(平成29年 3月31日現在)
資 産 の 部		
流動資産	59,700	60,692
固定資産	17,169	16,410
有形固定資産	10,625	10,743
無形固定資産	187	184
投資その他の資産	6,355	5,482
資 産 合 計	76,869	77,102
負 債 の 部		
流動負債	31,272	32,748
固定負債	2,759	2,644
負 債 合 計	34,031	35,393
純資産の部		
株 主 資 本	40,668	40,140
資 本 金	2,754	2,754
資 本 剰 余 金	1,688	1,688
利 益 剰 余 金	36,264	35,736
自 己 株 式	△ 39	△ 39
その他の包括利益累計額	1,433	909
その他有価証券評価差額金	1,884	1,374
為替換算調整勘定	△ 108	△ 61
退職給付に係る調整累計額	△ 342	△ 403
非支配株主持分	736	659
純 資 産 合 計	42,838	41,709
負 債 ・ 純 資 産 合 計	76,869	77,102

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	(自 平成29年 4月1日 至 平成29年 9月30日)	(自 平成28年 4月1日 至 平成28年 9月30日)
完 成 工 事 高	45,067	46,525
完 成 工 事 原 価	39,577	41,125
完 成 工 事 総 利 益	5,490	5,400
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,962	1,879
営 業 利 益	3,527	3,520
営 業 外 収 益	226	152
営 業 外 費 用	56	300
経 常 利 益	3,698	3,371
特 別 利 益	0	16
特 別 損 失	1	48
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	3,697	3,340
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,013	1,150
法 人 税 等 調 整 額	127	15
非支配株主に帰属する中間純利益	85	30
親会社株主に帰属する中間純利益	2,470	2,143

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	(自 平成29年 4月1日 至 平成29年 9月30日)	(自 平成28年 4月1日 至 平成28年 9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,526	△ 5,328
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 476	△ 358
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,891	△ 1,374
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 7	△ 43
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	149	△ 7,105
現金及び現金同等物の期首残高	10,540	19,686
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,690	12,580

概要

- 商号 新興プランテック株式会社  
Shinko Plantech Co., Ltd.
- 本社所在地 〒235-0017 横浜市磯子区新磯子町27番地5
- お問合せ先 045-758-1950 (代表)
- 設立 1938年(昭和13年)7月20日
- 資本金 2,754,473,003円
- 上場取引所 東京証券取引所 市場第一部
- 従業員数 連結 1,440名 単体 1,032名

役員

●取締役

- 代表取締役社長 吉川善治
- 執行役員社長 大友喜治
- 代表取締役副社長 池田俊明
- 執行役員副社長 中沢信雄
- 取締役専務執行役員 鱈淵彰
- 取締役常務執行役員 山内弘人
- 取締役常務執行役員 佐藤琢磨
- 取締役常務執行役員 嵐義光
- 取締役常務執行役員 上野英俊
- 取締役監査等委員 井手上信博
- 取締役監査等委員 木原功
- 社外取締役監査等委員 二宮照興
- 社外取締役監査等委員 小松俊二
- 社外取締役監査等委員 布施雅弘

●執行役員 (取締役兼務者を除く)

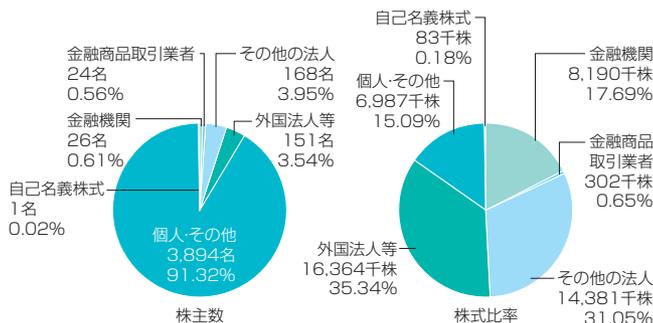
- 常務執行役員 岡部学
- 執行役員 杉井士郎
- 執行役員 山本光男
- 執行役員 志賀啓介
- 執行役員 福久正毅
- 執行役員 関口佳成
- 執行役員 有馬知秀
- 執行役員 毛利照彦
- 執行役員 中宅間大作
- 執行役員 林裕之

- 発行可能株式総数 160,000,000株
- 発行済株式総数 46,310,892株 (自己株式83,448株含む)
- 株主数 4,264名 (前期末比877名減)
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
JXTGホールディングス株式会社	6,100	13.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,838	3.98
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	1,700	3.68
株式会社NIPPON	1,500	3.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,423	3.08
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,378	2.98
株式会社光通信	1,259	2.72
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,232	2.67
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG(FE-AC)	1,023	2.21
新興プランテック取引先持株会	909	1.97

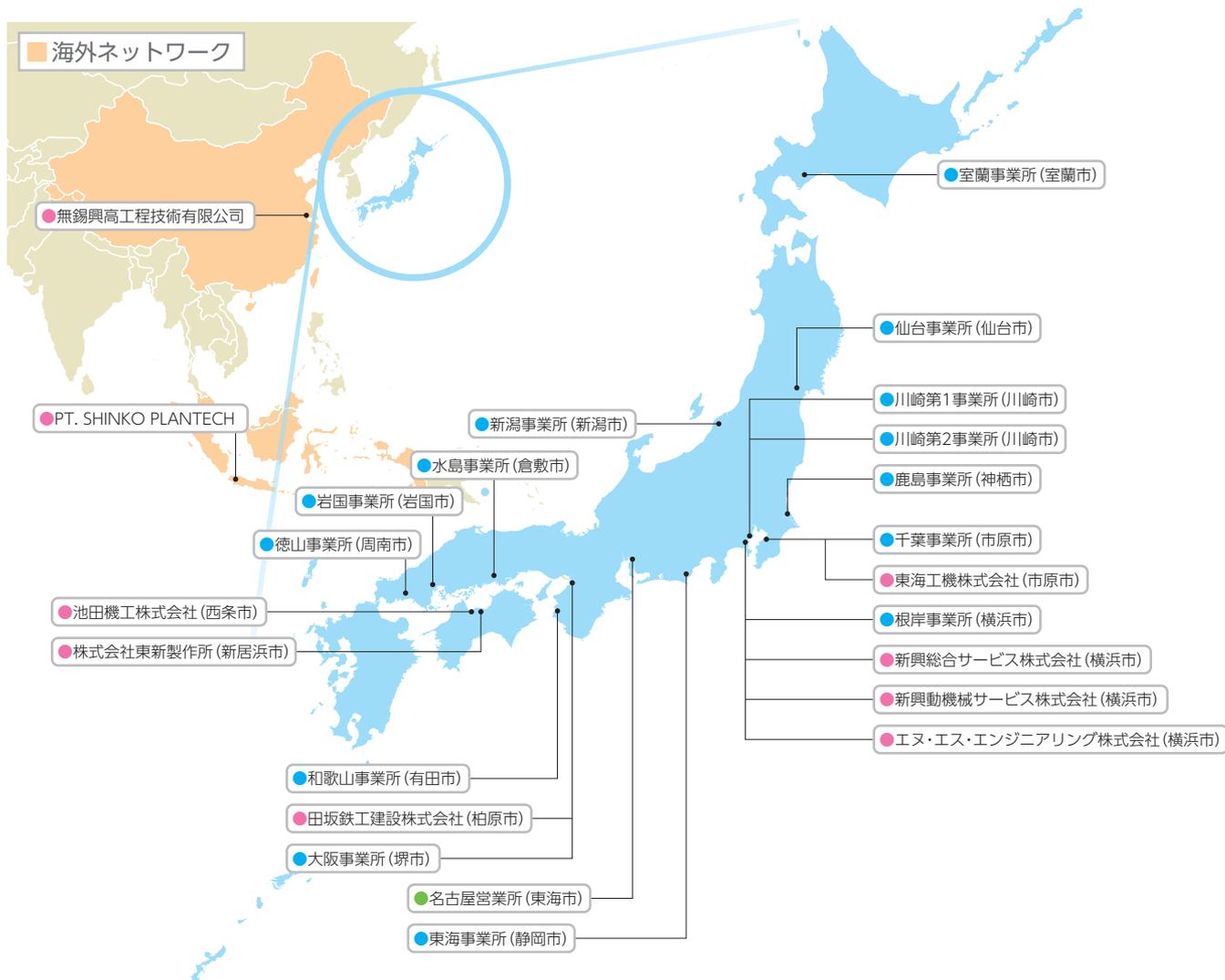
(注) 持株比率は、自己株式(83,448株)を控除して計算しております。

●所有株数別株式分布状況



事業拠点／関連会社

- 事業所 14カ所
- 営業所 1カ所
- 子会社 9カ所



## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会については 3月31日といたします。 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めます。
配当金受領 株主確定日	3月31日および中間配当を 実施するときは9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区 丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区 丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(電話問い合わせ)  
および郵便物送付先)

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
電話 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

※株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付にて上記のとおり変更しております。

公告の方法 電子公告といたします。  
但し、電子公告による公告を  
することができない場合は、  
日本経済新聞に掲載する  
方法といたします。

単元株式数 100株

## Webサイトのご紹介

当社ウェブサイトでは、会社案内、事例・実績紹介、株主・投資家情報など、各ページにおいて、当社に関する情報を掲載しております。ぜひご覧下さい。

新興プランテック

検索

<http://www.s-plantech.co.jp/>

### トップページ



### 株主・投資家情報



最新のIR資料や、決算短信・決算説明資料・有価証券報告書等により詳細な財務情報を掲載しております。

